

近年の暴走族の実態

最近の暴走族は、単に改造バイクを乗り回すだけの集団ではなく、集団でひったくり、窃盗、恐喝事件などを起こしたり、鉄パイプや金属バットで武装して、爆音暴走しながら、私達の安全で平穏な生活を脅かす悪質・危険な犯罪集団と化しています。

暴走族の構成状況

暴走族グループの多くは、出身中学校単位で結成されていることから、先輩と後輩の結びつきが強く、暴走族OB↓現役暴走族↓中学生(予備軍)と、世代交代を繰り返しています。飯塚警察署では、管内に58人の暴走族人員を把握しています。その内、グループに属していない非組織人員が51人、ほとんどの者が単発で活動していることとなります。

暴力団の予備軍

暴走族の中には、暴力団と関わりがある者がいます。暴力団となっている暴走族OBが暴力団を「後ろ盾」に、暴走族メンバーから金品を巻き上げたり、集団暴走や盗みの指示をしたりしています。また、暴走族少年を組員

に誘い、組織の拡充を図ったりもしています。

このようにして、暴力団のつながりが強くなったことから、暴走族の間には覚せい剤やシンナー等の薬物汚染が広がっています。

